



創立148周年

6月号(令和3年5月31日)

kurosyou-dayori

鉄小だより

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kurogane/> 横浜市立鉄小学校

人から学ぶ

校長 森 愛子

5月24日の神奈川新聞に、本校に野菜の栽培指導をしてくださっている金子茂文さんの「キャベツを届け被災地応援」の記事が大きく取り上げられました。金子さんは、東日本大震災で甚大なる被害を被った福島県南相馬市や広野町の子ども達を笑顔にしたいという思いで、10年にも渡り、毎年、ご自身が育てたキャベツを送り続けてこられました。収穫するほとんどのキャベツを被災地に送り、鉄小学校の給食にも無償提供してくださっていました。震災の記憶のない児童ばかりとなった現在、このキャベツを給食でいただくことは、横浜に住む子ども達にとって、被災地に思いを馳せるという、いい学びの機会であるので、朝会で紹介しました。

学校教育目標にもある言葉ですが、まさに「人から学ぶ」とはこのことです。毎年、レンゲ畑を自由に走り回らせていただき、野菜づくりを指導していただいている身近な方が、このような素晴らしい活動を声高に自慢することなく、地道に続けてこられたこと、そして、その行動力と努力、謙虚な姿勢こそが多くの方の胸を打つ記事となり、認められるということにつながることを鉄の子ども達は知ることができました。

緊急事態宣言延長が決まり、行事開催時期の変更等考えていますが、屋外での田植え、さつまいもの苗植え、1年2年の子どもの杜は実施の予定でいます。水泳学習については、本校の場合、更衣室を男女それぞれ2か所用意できることから、着替え時の密を避けることができます。2学年合同でも、プールサイドでソーシャルディスタンスを取ることができる。マスクを外した時は話さないというルールを児童がきちんと守っていることから、各学年通常回数を実施する予定です。教員は、指導上発声する際には、プール用マスクを着用します。尚、区水泳記録会は今年度は中止となりましたので、夏季水泳は実施しません。早くも梅雨入りしたかのような雨続きの後の気温の上昇。不安定な天気の中を縫い、子ども達は校庭で元気一杯運動しています。楽しそうな声が響き渡る中、学校生活の中だけでも当たり前前日常を送らせてあげたいと思います。

身近な人へも、遠くで自分達以上に苦勞をしている人へも、思いを馳せ、何かできる自分になりたいと、考えさせられる嬉しいニュースを紹介させていただきました。

